【 44 】

氏名	十 河 泰 司
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第1199号
学位授与の日付	昭和56年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	**糖尿病患者の運動負荷ベクトル心電図（Frank法）**
論文審査委員	教授 木村郁郎　教授 大藤 眞　教授 寺本 滋

学位論文内容の要旨

糖尿病の心筋障害については，Microangiopathyによる病変が近年注目されている。そこで，微細な心筋病変もあらわすことが可能なベクトル心電図を用い糖尿病患者を含む103名にエルゴメーターによる亜最大運動負荷試験を行い，運動負荷ベクトル心電図を記録検討した。

糖尿病患者には，QRS biteが高率に認められた。QRS biteは，罹病期間の長いもの，糖尿病性網膜症の程度の強いものに高率に認められた。QRS biteが運動負荷後その大きさを増大するものは，運動負荷後ST・T変化を伴うものが多く認められた。QRS biteの成因については，雑種成犬に細小血管障害をおこすといわれるアリルアミンを反復静注することによりQRS biteが出現したこと，及び雑種成犬心筋の病理学的検討より細小血管障害によるmicrofibrosisが成因と考えられた。

糖尿病患者の心筋障害の検討に運動負荷ベクトル心電図が有用と考えられた。

論文審査の結果の要旨

本研究は糖尿病患者の運動負荷ベクトル心電図について実験的ならびに臨床的に研究したものであるが，従来十分に観察されていなかったQRS biteとか運動負荷後ST・Tの変化などベクトル心電図所見について重要な知見をえたものとして価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は医学博士の学位をうる資格があると認める。